

2020年7月15日  
日本生命保険相互会社

プライベートエクイティファンドを通じたインパクト投資の開始について  
～経済的リターンの獲得と同時に社会的リターンを計測、SDGs 達成への貢献を実現～

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、インパクト投資を開始いたしました。具体的には、当社子会社である Nippon Life Global Investors Americas, Inc. が運用するファンドを通じ、TPG Capital L.P.（以下「TPG 社」）の関連会社が運用する「The Rise Fund II, L.P.」（以下「当ファンド」）に、20 百万米ドル（約 21 億円）投資することになったものであり、当ファンドは、経済的リターンの獲得と同時に環境・社会的インパクトを創出、計測し、SDGs 達成への貢献を実現するプライベートエクイティファンドです。

当ファンドの実質的運用者である TPG 社は、1992 年の設立以来優れた運用実績を有する米国の大手プライベートエクイティ投資会社であり、経済的リターンの獲得と併せて、投資先企業がもたらした SDGs 達成への貢献などの環境・社会的インパクトを定量的に評価するインパクト投資を 2017 年から行っている最も先進的な運用者の 1 社となります。

当ファンドでは、主要投資テーマを、「ヘルスケア」「教育」「金融サービス」「再生可能エネルギー」「食糧・農業」の 5 つとしており、新型コロナウイルス感染症拡大のもとで、公衆衛生の改善や医療の充実などを通じ、環境・社会課題の解決に資するインパクト創出を志向する企業も潜在的な投資対象に含まれると考えられます。

SDGs 達成への貢献などの社会的インパクトの測定方法は現時点では業界標準として定まったものはありません。当社は当ファンドへの投資を通じ、TPG 社や世界の先進的なインパクト投資家との情報交換を行い、グローバルなインパクト投資の潮流や定量的なインパクト測定に関する知見を蓄積し、今後の当社のインパクト投資の拡大・発展に活用してまいります。

なお、当社は、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、環境問題の解決や社会貢献に資する ESG 投融資を積極的に推進しており、当ファンドへの投資は、当社における ESG 投融資の取り組みをさらに発展させるものとなります。

今後も、社会公共性・投資採算性を踏まえ、インパクト投資を含む ESG 投融資を推進することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

<当ファンドの概要>

名称	The Rise Fund II, L.P.
運用者	The Rise Fund GenPar II, L.P.
投資対象	SDGs 達成への貢献が期待される未公開企業の株式
投資地域	グローバル
当社投資額	20 百万米ドル (約 21 億円)

以 上